

ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する
アンケート調査報告書（市民・事業者）

令和7年8月
福島市

【目次】

第1章 調査概要	．．．．．P 3
1 調査目的	
2 調査対象	
3 調査方法	
4 調査期間	
5 回収状況	
6 留意事項	
第2章 調査結果	．．．．．P 4
【市民向け】	．．．．．P 4
1 回答者の属性	
2 家庭ごみ排出量と分別	
3 条例認知度と責務	
4 情報の取得	
5 ごみ減量の取り組み	
6 ごみ資源化の取り組み	
7 サーキュラーエコノミー	
8 ごみ収集・処分	
9 最終処分場	
10 食品ロス	
【事業者向け】	．．．．．P 16
1 回答者の属性	
2 事業者・行政の責務	
3 ごみ減量の取り組み	
4 行政情報の取得、支援	
5 ごみ処理費用	
6 サーキュラーエコノミー	
7 食品ロス	

【第1章 調査概要】

1 調査目的

本調査は、一般廃棄物処理基本計画の策定の基礎資料を得ることを目的として市民および事業者を対象に実施したものである。調査項目においては、ごみの分別・排出に関する意識や取組状況、ごみ減量化に向けた課題認識などについて把握することを重視した。

2 調査対象者

市民向け：福島市の住民基本台帳に基づき、住民登録を有する満18歳以上80歳未満の男女2,500人を無作為に抽出。

事業者向け：法人住民税情報に基づき、産業分類ごとに事業者500件を無作為に抽出。

3 調査方法

調査対象に対し郵送にて調査票を配布。回答は郵便及びオンラインにて実施。また、追加調査としてLINEを活用したアンケートを併せて実施した。

4 調査期間

令和7年8月18日から8月31日まで

5 配布件数・回収件数（回収率）

市民向け：配布2,500件、有効回収1,031件（回収率41%）

事業者向け：配布500件、有効回収181件（回収率36%）

LINEを活用したアンケート（市民向け）回答137件

6 主な設問内容

1. ごみ分別・排出に関する意識について
2. ごみ減量や資源化への取組状況について
3. ごみ処理や最終処分場に関する課題認識について
4. 食品ロス削減について

7 報告書の見方

- (1)回答は、各質問の回答数を基数とした百分率で示すことを基本としました。
- (2)百分率は、小数第二位を四捨五入したため合計が 100%にならない場合があります。
- (3)複数回答の質問については、比率の合計は 100%にはなりません。また、単数回答の質問についても、四捨五入の関係上、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (4)選択式の質問については、該当者数を母数として比率を算出しました。
- (5)その他については、複数のご意見や「特になし」とご記入いただいた回答者もいることから「その他」を選択した回答数と合わない場合があります。

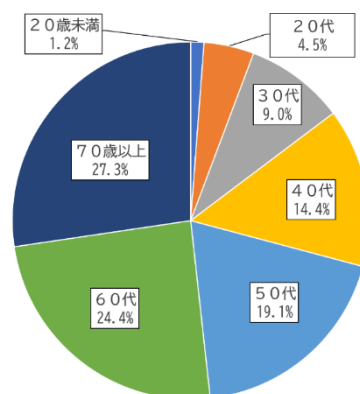
【第2章 調査結果】

【市民向けアンケート】

1 回答者の属性

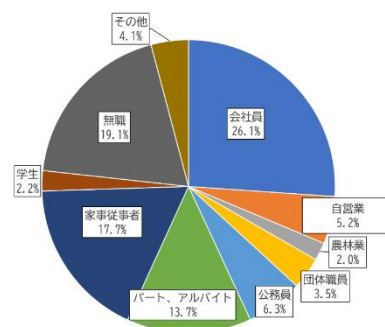
(1) あなたの年齢を教えてください。

項目	回答数	割合
1 20歳未満	14	1.2%
2 20代	53	4.5%
3 30代	105	9.0%
4 40代	168	14.4%
5 50代	223	19.1%
6 60代	285	24.4%
7 70歳以上	319	27.3%
小計	1,167	100.0%



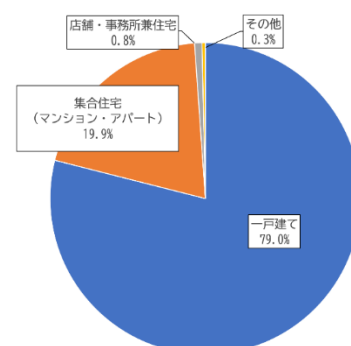
(2) あなたのご職業を教えてください。

項目	回答数	割合
1 会社員	304	26.1%
2 自営業	61	5.2%
3 農林業	23	2.0%
4 団体職員	41	3.5%
5 公務員	73	6.3%
6 パート、アルバイト	160	13.7%
7 家事従事者	206	17.7%
8 学生	26	2.2%
9 無職	223	19.1%
10 その他	48	4.1%
小計	1,165	100.0%



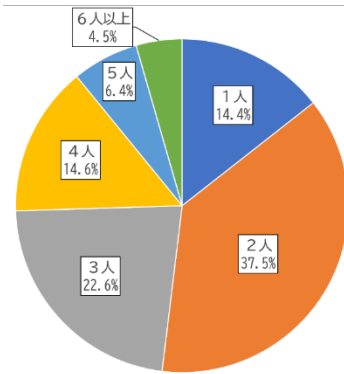
(3) あなたのお住いの形態は、どちらにあたりますか。

項目	回答数	割合
1 一戸建て	919	79.0%
2 集合住宅 (マンション・アパート)	232	19.9%
3 店舗・事務所兼住宅	9	0.8%
4 その他	4	0.3%
小計	1,164	100.0%



(4) あなたを含め居住している人数は何人ですか。

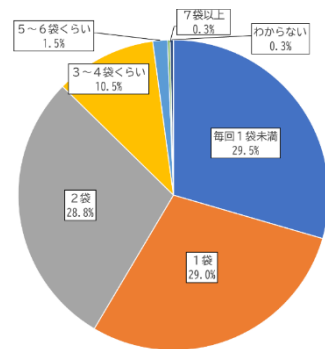
項目	回答数	割合
1 1人	168	14.4%
2 2人	437	37.5%
3 3人	263	22.6%
4 4人	170	14.6%
5 5人	75	6.4%
6 6人以上	52	4.5%
小計	1,165	100.0%



2 ごみ排出量と分別について

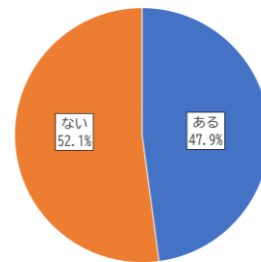
(1)一週間に出す「資源にできない燃やすごみ」の量について（45L 袋で換算）

項目	回答数	割合
1 毎回1袋未満	345	29.5%
2 1袋	339	29.0%
3 2袋	337	28.8%
4 3～4袋くらい	123	10.5%
5 5～6袋くらい	18	1.5%
6 7袋以上	3	0.3%
7 わからない	4	0.3%
小計	1,169	100.0%



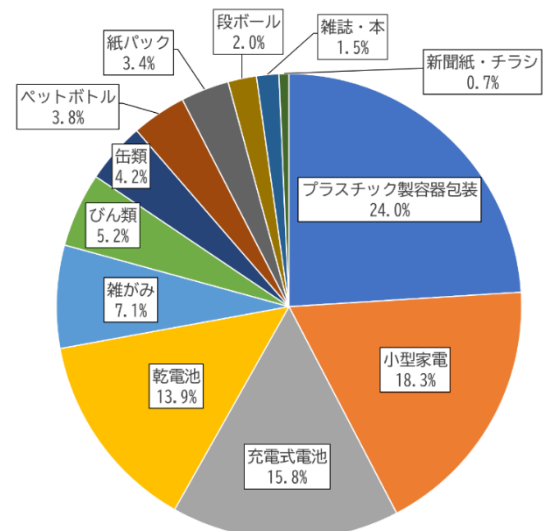
(2-1) 分別が難しいと感じる品目の有無について

項目	回答数	割合
1 ある	553	47.9%
2 ない	602	52.1%
小計	1,155	100.0%



(2-2) 分別にお困りの点や難しいと感じる品目について

項目	回答数	割合
1 プラスチック製容器包装	279	24.0%
2 小型家電	213	18.3%
3 充電式電池	184	15.8%
4 乾電池	162	13.9%
5 雑がみ	83	7.1%
6 びん類	60	5.2%
7 缶類	49	4.2%
8 ペットボトル	44	3.8%
9 紙パック	39	3.4%
10 段ボール	23	2.0%
11 雑誌・本	18	1.5%
12 新聞紙・チラシ	8	0.7%
小計	1,162	100.0%



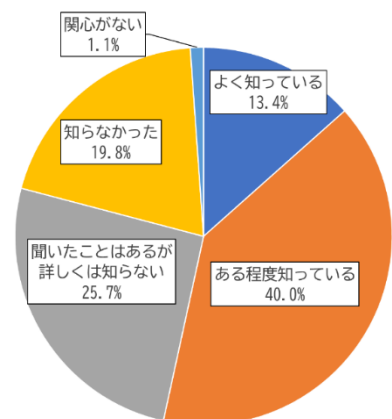
(2-3) 分別にお困りの点や難しいと感じる理由について

項目	回答数	割合
1 分別の方法が分からない	227	26.3%
2 きれいにするための水がもったいない	127	14.7%
3 出す場所や時間が限られていて不便	103	11.9%
4 手間がかかる	91	10.5%
5 リサイクルの効果に疑問がある	69	8.0%
6 自宅に保管スペースがない	60	7.0%
7 収集の曜日が分からない	32	3.7%
8 忙しくて手が回らない	22	2.5%
9 家族が協力してくれない	11	1.3%
10 体力的・年齢的に運ぶのが難しい	10	1.2%
11 その他	111	12.9%
小計	863	100.0%

3 条例の認知度と責務

(1) 令和7年3月から市民の責務が条例に明確化されたことについて

項目	回答数	割合
1 よく知っている	155	13.4%
2 ある程度知っている	461	40.0%
3 聞いたことはあるが詳しくは知らない	296	25.7%
4 知らなかった	228	19.8%
5 関心がない	13	1.1%
小計	1,153	100.0%



(2) 市民が注力して取り組むべきことは何か

項目	回答数	割合
1 正しい分別と適正な排出を心がける	990	32.7%
2 資源の再利用・リサイクルに協力する	799	26.4%
3 ごみの発生抑制に努める	588	19.4%
4 危険物や有害ごみを適正に処理・排出する	321	10.6%
5 集積所の管理や資源回収の補助などに協力する	137	4.5%
6 ごみ処理に関する情報を積極的に学び、周囲に伝える	90	3.0%
7 地域の環境美化や啓発活動に参加する	87	2.9%
8 その他	13	0.4%
小計	3,025	100.0%

(3) 事業者が注力して取り組むべきことは何か

項目	回答数	割合
1 事業活動に伴い発生するごみを適正に分別・保管・処理する	604	21.0%
2 資源の再利用・リサイクルに協力する	513	17.8%
3 ごみの発生抑制（減量）を推進する	444	15.4%
4 容器包装や製品の軽量化、詰め替え製品などの使用によるごみの減量化に協力する	436	15.1%
5 製造・販売過程での廃棄抑制や賞味期限管理など、食品ロス削減に協力する	426	14.8%
6 危険物や有害ごみになり得る製造・販売製品や、市で収集できない古布などの資源化ルートの確保に協力する	304	10.6%
7 地域と連携した啓発活動や環境保全活動へ協力する	137	4.8%
8 その他	15	0.5%
小計	2,879	100.0%

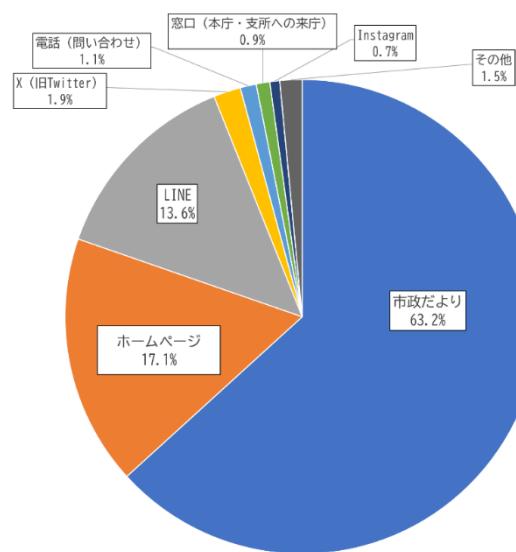
(4) 行政が注力して取り組むべきことは何か

項目	回答数	割合
1 市民や事業者が守るべき分別ルールや排出ルールを制定し、分かりやすく情報提供する	761	26.9%
2 ごみ収集・運搬の体制を整え、安定的かつ効率的に運営する	515	18.2%
3 適正なごみ処理が行われているか監視し、不法投棄や違法処理があれば指導・処分を行う	362	12.8%
4 ごみの発生抑制やリサイクル促進のための制度設計、事業者や市民向けの支援策や助成金の提供、技術支援を行う	337	11.9%
5 安定したごみ処理ができるよう安全・環境に配慮した運営の適正管理を行う	296	10.5%
6 食品ロス削減やごみ減量に関するキャンペーンや事業を実施する	260	9.2%
7 国や他自治体、民間事業者と連携した広域的なごみ運搬・処理を推進する	139	4.9%
8 市民、事業者、NPOなどとの連携を強化し、地域ぐるみでの環境保全活動を推進する	122	4.3%
9 その他	36	1.3%
小計	2,828	100.0%

4 行政情報の取得方法

(1) 最もよく利用する行政情報の取得方法について

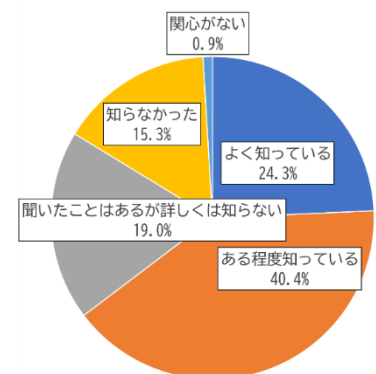
項目	回答数	割合
1 市政だより	752	63.2%
2 ホームページ	203	17.1%
3 LINE	162	13.6%
4 X (旧Twitter)	22	1.9%
5 電話（問い合わせ）	13	1.1%
6 窓口（本庁・支所への来庁）	11	0.9%
7 Instagram	8	0.7%
8 市政出前講座	0	0.0%
9 その他	18	1.5%
小計	1,189	100.0%



5 ごみ減量の取り組み

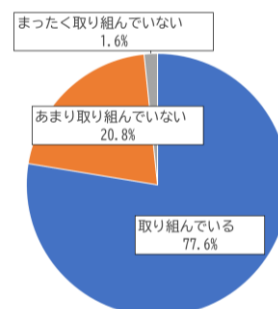
(1) 福島市の1人1日当たりのごみ排出量は1,014gと全国平均の851gより約1.2倍と多い現状を知っているか

項目	回答数	割合
1 よく知っている	282	24.3%
2 ある程度知っている	469	40.4%
3 聞いたことはあるが詳しくは知らない	221	19.0%
4 知らなかった	178	15.3%
5 関心がない	11	0.9%
小計	1,161	100.0%



(2) あなたはごみ減量につながる取り組みをしていますか。

項目	回答数	割合
1 取り組んでいる	897	77.6%
2 あまり取り組んでいない	240	20.8%
3 まったく取り組んでいない	19	1.6%
小計	1,156	100.0%



(3) あなたが取り組むごみ減量の取組内容について

	項目	回答数	割合
1	汚れのあるプラスチック容器やペットボトルなどの資源物は洗ってリサイクルしている	602	25.5%
2	食べきれない量の買い物はしない、食べ残しが出ない量を調理する等、食品ロスの削減に心がけている	501	21.3%
3	スーパー等の資源物回収ボックスを利用している	318	13.5%
4	市のクリーンガイドブックに従いごみを分別している	313	13.3%
5	使い捨ての容器や割りばし等の使用を控えている	311	13.2%
6	雑草等を乾燥させる、枝類をチップ化するなど、草枝類の減量化や資源化に取り組んでいる	119	5.0%
7	キエーロなどの生ごみ処理容器を活用し、生ごみを出さない生活を心がける	107	4.5%
8	バザーやフリーマーケット、リサイクルショップを利用している	56	2.4%
9	ごみ減量やリサイクルに関する説明会等に参加している	20	0.8%
10	その他	10	0.4%
	小計	2,357	100.0%

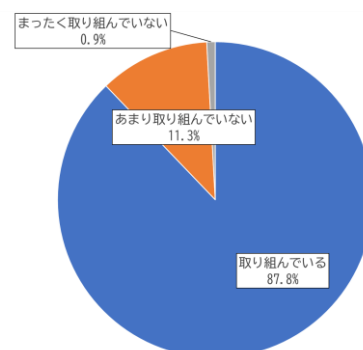
(4) 取り組まない理由

	項目	回答数	割合
1	取り組むだけの余裕がない（忙しくて時間がない）	91	35.3%
2	分別等をして、その後きちんとリサイクルされているかわからずやりがいがない	50	19.4%
3	面倒だから	34	13.2%
4	ごみの分別方法がわからない	26	10.1%
5	ごみに関心がない	17	6.6%
6	なぜごみを減らさなければならないか、理由がわからない（メリットが感じられない）	10	3.9%
7	その他	30	11.6%
	小計	258	100.0%

6 ごみ資源化の取り組み

(1) ごみ資源化取り組みの実施状況

	項目	回答数	割合
1	取り組んでいる	1,016	87.8%
2	あまり取り組んでいない	131	11.3%
3	まったく取り組んでいない	10	0.9%
	小計	1,157	100.0%



(2)取組内容について

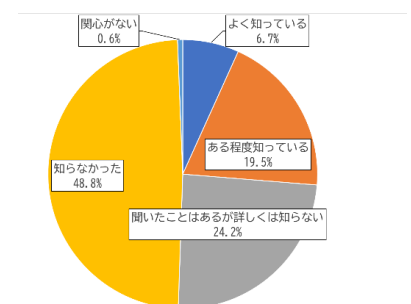
項目	回答数	割合
1 家庭での分別排出に取り組んでいる（資源物、燃やすごみ、埋めるごみ等ルールに沿った分別）	920	39.5%
2 資源物（古紙類、繊維類、びん類、缶類）を集団資源回収に出している	571	24.5%
3 スーパー等の資源物回収ボックスを利用している	442	19.0%
4 使用済小型家電回収ボックスの拠点回収を利用している	198	8.5%
5 バザーやフリーマーケット、リサイクルショップを利用している	92	3.9%
6 生ごみ処理容器（コンポスト、電動生ごみ処理機等）を活用してできた堆肥を家庭菜園等に利用している	78	3.3%
7 リユースサイト（おいくら、ジモティー等）を利用している	20	0.9%
8 その他	11	0.5%
小計	2,332	100.0%

(3)資源化に取り組まない理由について

項目	回答数	割合
1 取り組むだけの余裕がない（忙しくて時間がない）	45	32.1%
2 分別等をして、その後きちんとリサイクルされているかわからずやりがいがない	25	17.9%
3 面倒だから	24	17.1%
4 ごみの分別方法がわからない	19	13.6%
5 ごみに関心がない	13	9.3%
6 なぜごみを減らさなければならないか、理由がわからない（メリットが感じられない）	5	3.6%
7 その他	9	6.4%
小計	140	100.0%

(4) 集めた資源物が売却され、市の収入につながっていることについて

項目	回答数	割合
1 よく知っている	76	6.7%
2 ある程度知っている	220	19.5%
3 聞いたことはあるが詳しくは知らない	273	24.2%
4 知らなかった	550	48.8%
5 関心がない	7	0.6%
小計	1,126	100.0%



(5) ごみの減量化・資源化を進めるために、福島市で力を入れて欲しいこと

項目		回答数	割合
1	公共施設等における資源物の回収拠点を設けるなど、資源物を出せる機会を増やす	698	34.0%
2	資源物の分別収集品目を拡大する	342	16.7%
3	生ごみ処理容器購入費助成金に対する支援を充実させる	297	14.5%
4	集団資源回収事業に対する支援を充実させる	266	13.0%
5	ごみ減量に関する講習会や関係施設の見学会の開催、情報誌の発行など、広報の充実に務める	174	8.5%
6	ごみの有料化を進める	129	6.3%
7	特になし	86	4.2%
8	その他	59	2.9%
小計		2,051	100.0%

7 サークュラーエコノミー

(1) サークュラーエコノミー（循環経済）について知っていますか。

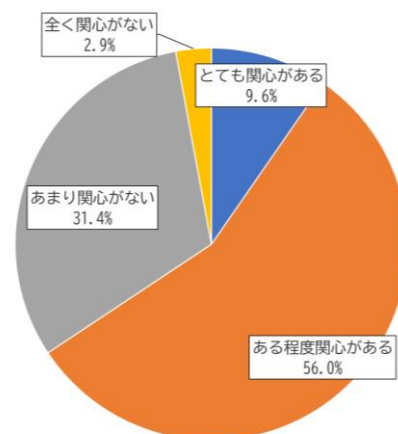
項目		回答数	割合
1	言葉も意味も良く知っているし内容を人に説明できる	14	1.2%
2	言葉を知っていて意味もある程度知っている	129	11.4%
3	言葉は聞いたことがあるが理解できていない	198	17.5%
4	知らなかった	791	69.9%
小計		1,132	100.0%

(2) 日常生活の中であなたが実践するごみを出さない取り組みについて

項目		回答数	割合
1	マイバッグ、マイボトル、マイ箸など繰り返し使える製品を利用している	818	30.0%
2	不要なものをできるだけ購入せず、必要な分だけ買っている	689	25.2%
3	詰め替え製品や量り売り、簡易包装などごみの少ない商品を選んでいる	650	23.8%
4	修理やメンテナンスを行い、製品を長く使っている	257	9.4%
5	行政の資源物分別への協力や地域の資源循環拠点を利用している	191	7.0%
6	バザーやフリーマーケット、リサイクルショップ、リユースサイトを活用し再利用している	110	4.0%
7	シェアリングサービス（シェアサイクル、レンタルなど）を活用している	9	0.3%
8	その他	6	0.2%
小計		2,730	100.0%

(3-1) 各企業のサーキュラーエコノミーの取り組みに対する関心について

項目		回答数	割合
1	とても関心がある	109	9.6%
2	ある程度関心がある	633	56.0%
3	あまり関心がない	355	31.4%
4	全く関心がない	33	2.9%
小計		1,130	100.0%



(3-2)関心のある取り組み内容

	項目	回答数	割合
1	マイバッグ、マイボトル、マイ箸など繰り返し使える製品を利用したい（購入費やごみ袋の削減）	465	24.6%
2	不要なものをできるだけ購入せず、必要な分だけ買う（購入費やごみ袋の削減）	462	24.4%
3	詰め替え製品や量り売り、簡易包装などの利用を増やす（包装費や処理費の低減による商品価格への転嫁）	458	24.2%
4	修理やメンテナンスをして製品を長く使う（買い替えコストの削減）	217	11.5%
5	行政の資源物分別への協力や地域の資源循環拠点の利用を始める（地域経済活性化）	125	6.6%
6	バザーやフリーマーケット、リサイクルショップ、リユースサイトの利用を始める／増やす（再利用による購入費の削減）	99	5.2%
7	シェアリングサービス（シェアサイクル、レンタルなど）の利用を始める／増やす（所有コストの削減）	66	3.5%
8	その他	2	0.1%
	小計	1,894	100.0%

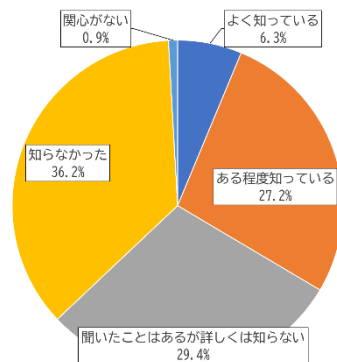
(4)サーキュラーエコノミーに期待すること

	項目	回答数	割合
1	ごみ処理に係る税金やコストの削減につながる	622	25.4%
2	ごみの利用や資源の有効利用が進む	587	23.9%
3	ごみ減量や資源化の意識が市民全体に広がる	363	14.8%
4	地域の環境が改善され、景観がきれいになる	292	11.9%
5	家計負担が軽減される（買い物・リユース製品利用などの節約効果）	266	10.8%
6	福島市のイメージや評価が向上する	107	4.4%
7	地域に新しい仕事や雇用が生まれる	105	4.3%
8	市民・事業者・行政の協力や連携が深まる	58	2.4%
9	地域経済や商店街、地元産業が活性化する	40	1.6%
10	その他	13	0.5%
	小計	2,453	100.0%

8 ごみ収集・処分

(1) 将来、労働力不足によりごみ収集体制維持が困難になる可能性について

	項目	回答数	割合
1	よく知っている	71	6.3%
2	ある程度知っている	308	27.2%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	333	29.4%
4	知らなかった	409	36.2%
5	関心がない	10	0.9%
	小計	1,131	100.0%



(2-1)ごみ収集の適正回数について（燃やすごみ）

項目	回答数	割合
1 週1	65	6.0%
2 週2	942	86.7%
3 週3	62	5.7%
4 週4以上	18	1.7%
小計	1,087	100.0%

(2-2)ごみ収集の適正回数について（埋めるごみ）

項目	回答数	割合
1 週1	370	35.2%
2 週2	617	58.7%
3 週3	43	4.1%
4 週4以上	21	2.0%
小計	1,051	100.0%

(2-3)ごみ収集の適正回数について（プラスチック）

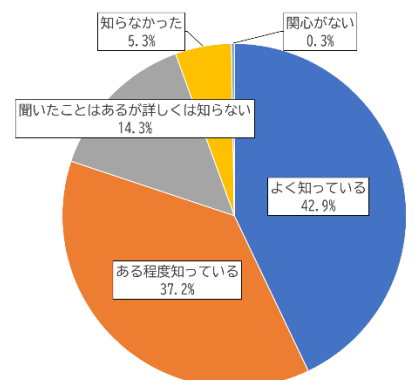
項目	回答数	割合
1 週1	651	60.2%
2 週2	331	30.6%
3 週3	41	3.8%
4 週4以上	59	5.5%
小計	1,082	100%

(2-)ごみ収集の適正回数（資源物）

項目	回答数	割合
1 月1	137	12.7%
2 月2	696	64.3%
3 月3	137	12.7%
4 月4以上	112	10.4%
小計	1,082	100%

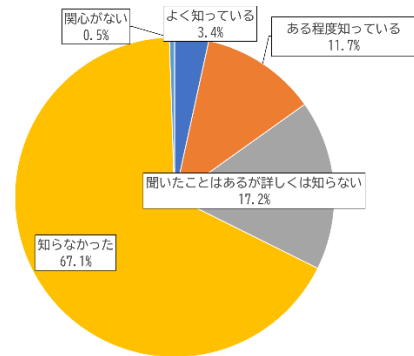
(3)充電式電池を原因とした火災事故に関する認知度について

項目	回答数	割合
1 よく知っている	488	42.9%
2 ある程度知っている	423	37.2%
3 聞いたことはあるが詳しくは知らない	163	14.3%
4 知らなかった	60	5.3%
5 関心がない	3	0.3%
小計	1,137	100.0%



(4)新あぶくまクリーンセンター建替に関する認知度について

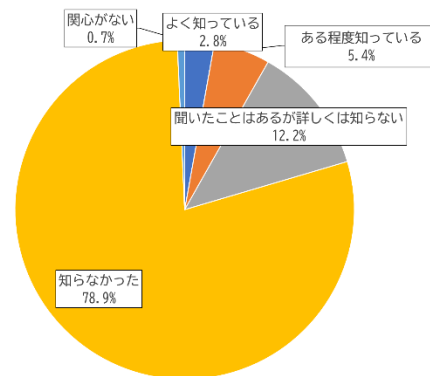
項目		回答数	割合
1	よく知っている	39	3.4%
2	ある程度知っている	133	11.7%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	195	17.2%
4	知らなかった	762	67.1%
5	関心がない	6	0.5%
小計		1,135	100.0%



9 最終処分場

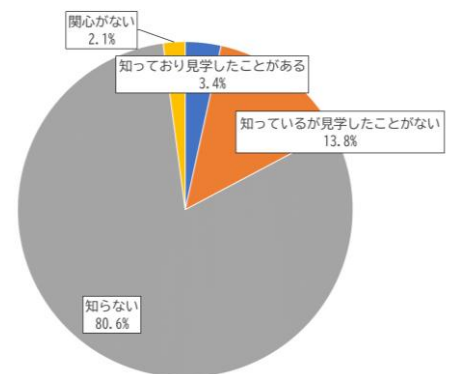
(1) 大館山一般廃棄物最終処分場に関する認知度について

項目		回答数	割合
1	よく知っている	32	2.8%
2	ある程度知っている	61	5.4%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	139	12.2%
4	知らなかった	896	78.9%
5	関心がない	8	0.7%
小計		1,136	100.0%



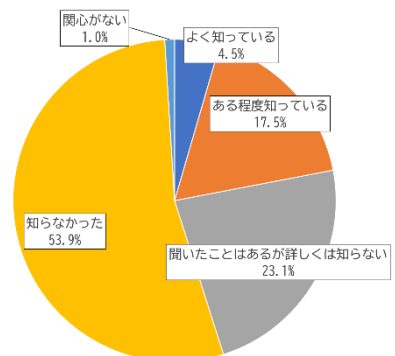
(2)最終処分場の見学についての認知度

項目		回答数	割合
1	知っており見学したことがある	39	3.4%
2	知っているが見学したことがない	157	13.8%
3	知らない	916	80.6%
4	関心がない	24	2.1%
小計		1,136	100.0%



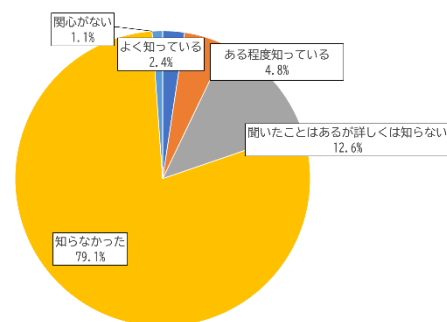
(3)最終処分場の主な埋立物について

項目		回答数	割合
1	よく知っている	51	4.5%
2	ある程度知っている	198	17.5%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	262	23.1%
4	知らなかった	611	53.9%
5	関心がない	11	1.0%
小計		1,133	100.0%



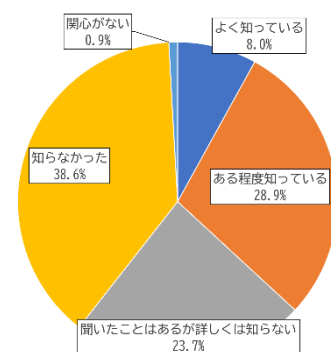
(4)最終処分場の使用可能期間について

項目		回答数	割合
1	よく知っている	27	2.4%
2	ある程度知っている	54	4.8%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	143	12.6%
4	知らなかった	897	79.1%
5	関心がない	13	1.1%
小計		1,134	100.0%



(5) 延命化のために減量・リサイクルが有効な取り組みであることについて

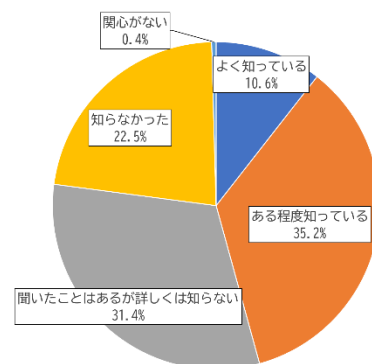
項目		回答数	割合
1	よく知っている	91	8.0%
2	ある程度知っている	328	28.9%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	269	23.7%
4	知らなかった	438	38.6%
5	関心がない	10	0.9%
小計		1,136	100.0%



10 食品ロス

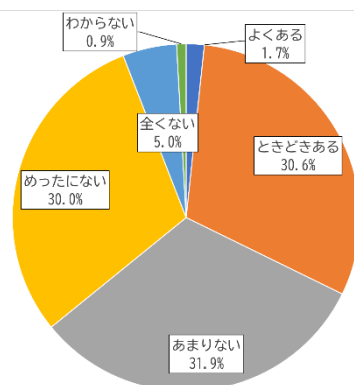
(1)食品ロス発生量に関する認知度

項目		回答数	割合
1	よく知っている	120	10.6%
2	ある程度知っている	399	35.2%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	356	31.4%
4	知らなかった	255	22.5%
5	関心がない	5	0.4%
小計		1,135	100.0%



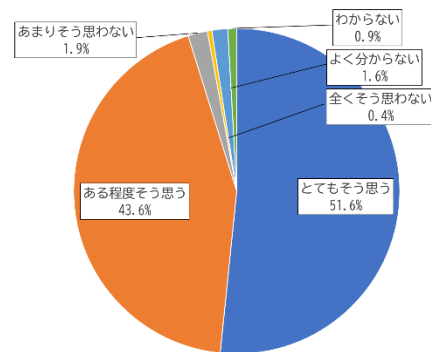
(2)食品ロスの発生頻度について

項目		回答数	割合
1	よくある	19	1.7%
2	ときどきある	347	30.6%
3	あまりない	362	31.9%
4	めったにない	340	30.0%
5	全くない	57	5.0%
6	わからない	10	0.9%
小計		1,135	100.0%



(3)食品ロス削減施策の重要性について

項目	回答数	割合
1 とてもそう思う	590	52.1%
2 ある程度そう思う	498	44.0%
3 あまりそう思わない	22	1.9%
4 全くそう思わない	5	0.4%
5 よく分からない	18	1.6%
6 わからない	10	0.9%
小計	1,143	100.9%

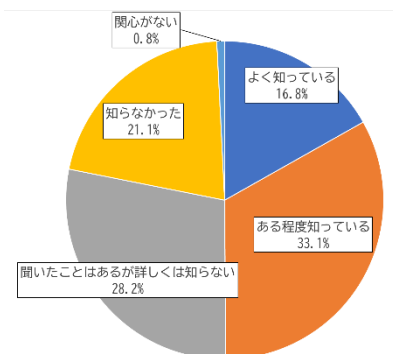


(4)食品ロス削減に有効な取り組みについて

項目	回答数	割合
1 買い過ぎない	842	28.2%
2 賞味消費期限の管理	549	18.4%
3 日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	425	14.2%
4 食べ残しをしない	411	13.8%
5 食品保存方法（冷凍など）の学習	338	11.3%
6 野菜を皮ごと調理するなど食材の使い切り	169	5.7%
7 てまえどりを心がけている	117	3.9%
8 食材を過剰除去しない	60	2.0%
9 外食時に食べ残しを持ち帰っている	25	0.8%
10 ふくしまタバスケの利用	13	0.4%
11 宴会時の2020運動の実践	13	0.4%
12 特にない	11	0.4%
13 その他	13	0.4%
小計	2,986	100.0%

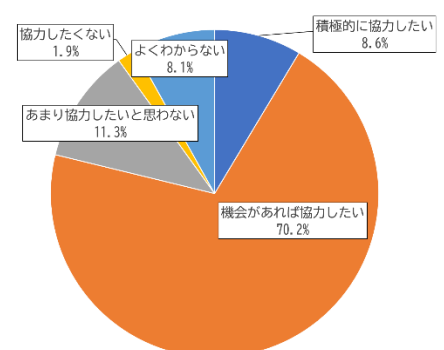
(5)フードバンク・フードドライブの認知度

項目	回答数	割合
1 よく知っている	191	16.8%
2 ある程度知っている	375	33.1%
3 聞いたことはあるが詳しくは知らない	320	28.2%
4 知らなかった	239	21.1%
5 関心がない	9	0.8%
小計	1,134	100.0%



(6)フードバンク・フードドライブへの協力について

項目	回答数	割合
1 積極的に協力したい	97	8.6%
2 機会があれば協力したい	792	70.2%
3 あまり協力したいと思わない	127	11.3%
4 協力したくない	21	1.9%
5 よくわからない	91	8.1%
小計	1,128	100.0%



【事業者向けアンケート】

1 回答者の属性

(1)業種

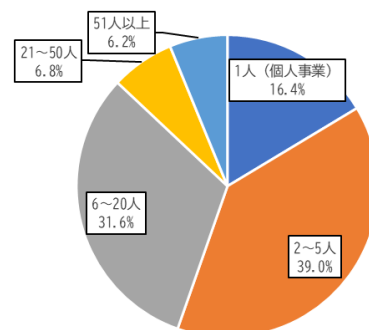
項目	回答数	割合
1 農業、林業	4	2.26%
2 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.00%
3 建設業	30	16.95%
4 製造業	11	6.21%
5 電気、ガス、熱供給、水道業	3	1.69%
6 情報通信業	2	1.13%
7 運輸業、郵便業	5	2.82%
8 卸売業、小売業	27	15.25%
9 金融業、保険業	1	0.56%
10 不動産業、物品賃貸業	16	9.04%
11 学術研究、専門・技術サービス業	11	6.21%
12 宿泊業、飲食サービス業	10	5.65%
13 生活関連サービス業、娯楽業	4	2.26%
14 教育、学習支援業	2	1.13%
15 医療、福祉	18	10.17%
16 複合サービス事業	3	1.69%
17 サービス業（他に分類されないもの）	24	13.56%
18 分類不能の産業	6	3.39%
小計	177	100.00%

(2)事業所形態

項目	回答数	割合
1 株式会社・合同会社などの法人事業所	149	82.32%
2 個人事業所（自営業）	8	4.42%
3 医療機関（病院・診療所・歯科など）	6	3.31%
4 教育機関（学校・幼稚園・保育園など）	0	0.00%
5 社会福祉施設（介護施設・児童福祉施設など）	2	1.10%
6 NPO法人・公益法人・協同組合など	13	7.18%
7 その他（自由記述：）	3	1.66%
小計	181	100.00%

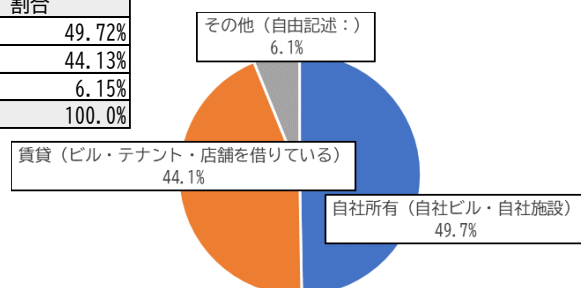
(3)従業員数

項目	回答数	割合
1 1人（個人事業）	29	16.38%
2 2～5人	69	38.98%
3 6～20人	56	31.64%
4 21～50人	12	6.78%
5 51人以上	11	6.21%
小計	177	100.00%



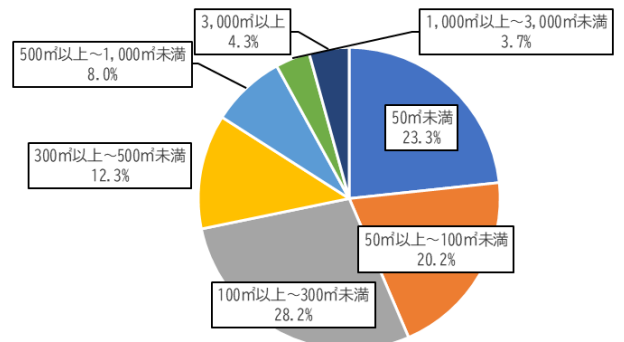
(4)建物の所有形態

項目	回答数	割合
1 自社所有（自社ビル・自社施設）	89	49.72%
2 賃貸（ビル・テナント・店舗を借りている）	79	44.13%
3 その他（自由記述：）	11	6.15%
小計	179	100.0%



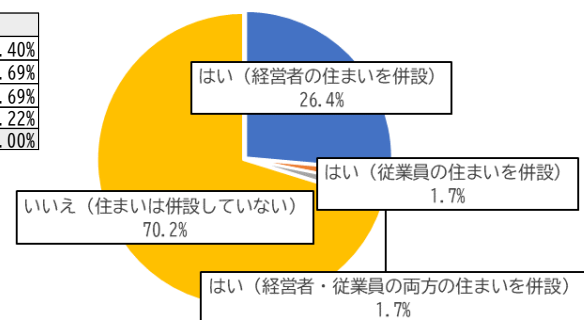
(5) 建物の延床面積

項目	回答数	割合
1 50㎡未満	38	23.31%
2 50㎡以上～100㎡未満	33	20.25%
3 100㎡以上～300㎡未満	46	28.22%
4 300㎡以上～500㎡未満	20	12.27%
5 500㎡以上～1,000㎡未満	13	7.98%
6 1,000㎡以上～3,000㎡未満	6	3.68%
7 3,000㎡以上	7	4.29%
小計	163	100.0%



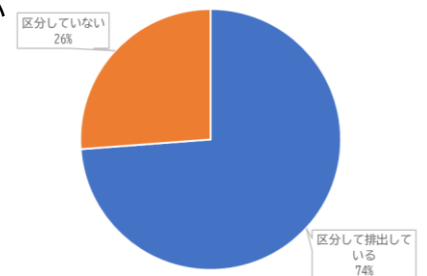
(6) 事業所と住居部分の併設有無

項目	回答数	割合
1 はい（経営者の住まいを併設）	47	26.40%
2 はい（従業員の住まいを併設）	3	1.69%
3 はい（経営者・従業員の両方の住まいを併設）	3	1.69%
4 いいえ（住まいは併設していない）	125	70.22%
小計	178	100.00%



(7) それぞれ事業所ごみと家庭ごみを区分して排出しているか

項目	回答数	割合
1 区分して排出している	31	73.81%
2 区分していない	11	26.19%
小計	42	100.00%



2 事業者・行政の責務

(1) 事業者が注力して取り組むべきこと

項目	回答数	割合
1 ごみの適正分別と排出	91	46.43%
2 リサイクルの推進	60	30.61%
3 ごみの発生抑制（減量）	32	16.33%
4 地域社会との連携	10	5.10%
5 その他（自由記述：）	3	1.53%
小計	196	100.0%

(2) 行政が注力して取り組むべきこと

項目	回答数	割合
1 市民や事業者が守るべき分別ルールや排出ルールを制定し、分かりやすく情報提供する。	61	33.89%
2 ごみ収集・運搬の体制を整え、安定的かつ効率的に運営する。	52	28.89%
3 ごみの発生抑制やリサイクル促進のための制度設計、事業者や市民向けの支援策や助成金の提供、技術支援を行う。	31	17.22%
4 適正なごみ処理が行われているか監視し、不法投棄や違法処理があれば指導・処分を行う。	22	12.22%
5 市民、事業者、NPOなどとの連携を強化し、地域ぐるみでの環境保全活動を推進する。	7	3.89%
6 その他（自由記述：）	7	3.89%
小計	180	100.0%

3 ごみ減量の取り組み

(1) ごみ減量取り組みの実施状況について

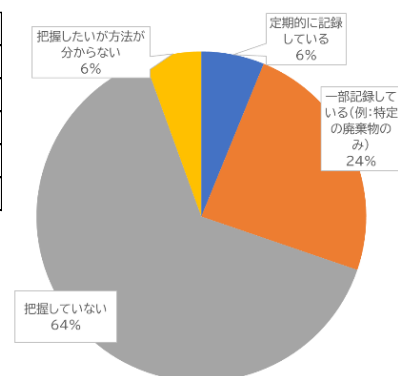
項目	回答数	割合
1 分別の徹底と資源ごみの回収	100	35.97%
2 紙や包装の削減	63	22.66%
3 リユース・リサイクルの推進	56	20.14%
4 食品ロスの削減	30	10.79%
5 取組はしていない ⇒ 問11へ	13	4.68%
6 製造工程での廃棄物の削減	11	3.96%
7 その他（自由記述：）	5	1.80%
小計	278	100.00%

(2) ごみ減量化に取り組んでいる主な理由

項目	回答数	割合
1 環境への配慮（SDGs・ESG対応）	61	36.09%
2 廃棄コスト削減のため	49	28.99%
3 社会的責任・CSRの一環	43	25.44%
4 法規制への対応	9	5.33%
5 顧客・取引先からの要請	4	2.37%
6 行政からの情報提供・支援があったため	0	0.00%
7 その他（自由記述：）	3	1.78%
小計	169	100.0%

(3) ごみの発生量や種類を把握・記録しているか

項目	回答数	割合
1 定期的に記録している	10	6.17%
2 一部記録している（例：特定の廃棄物のみ）	39	24.07%
3 把握していない	104	64.20%
4 把握したいが方法が分からない	9	5.56%
小計	162	100.0%

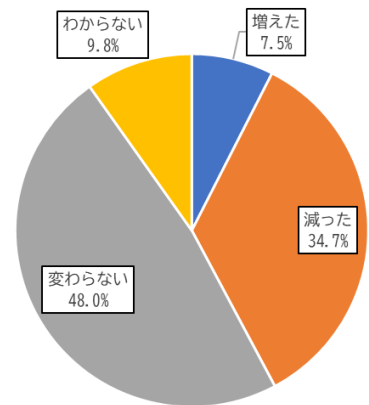


(4) 排出量の多いごみについて

項目	回答数	割合
1 燃やすごみ（生ごみ、紙くずなど）	31	29.81%
2 段ボール	19	18.27%
3 ペットボトル	12	11.54%
4 プラスチック類	11	10.58%
5 紙類（新聞・雑誌・コピー用紙など）	10	9.62%
6 廃木材	6	5.77%
7 金属類	4	3.85%
8 缶類	3	2.88%
9 びん類	1	0.96%
10 発泡スチロール	0	0.00%
11 その他	7	6.73%
小計	104	100.00%

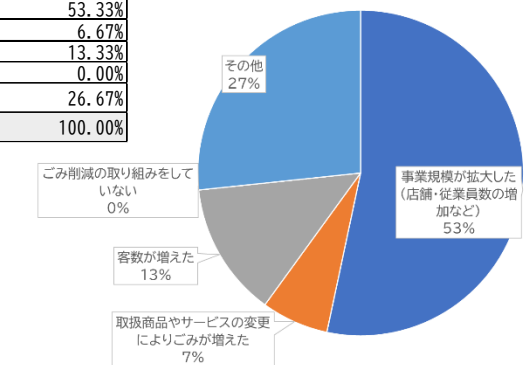
(5-1) 5年前と比較したごみ排出量の増減について

項目	回答数	割合
1 増えた	13	7.51%
2 減った	60	34.68%
3 変わらない	83	47.98%
4 わからない	17	9.83%
小計	173	100.0%



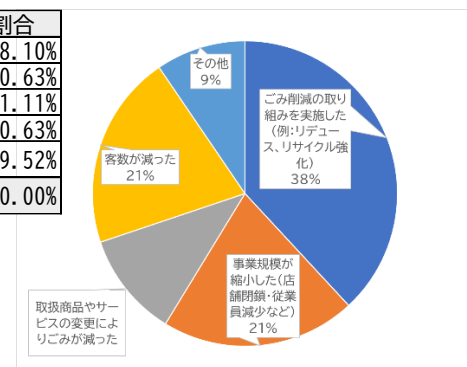
(5-2) 排出量が増えた理由

項目	件数	割合
1 事業規模が拡大した（店舗・従業員数の増加など）	8	53.33%
2 取扱商品やサービスの変更によりごみが増えた	1	6.67%
3 客数が増えた	2	13.33%
4 ごみ削減の取り組みをしていない	0	0.00%
5 その他	4	26.67%
小計	15	100.00%



(5-2) 排出量が減った理由

項目	件数	割合
1 ごみ削減の取り組みを実施した（例：リデュース、リサイクル強化）	24	38.10%
2 事業規模が縮小した（店舗閉鎖・従業員減少など）	13	20.63%
3 取扱商品やサービスの変更によりごみが減った	7	11.11%
4 客数が減った	13	20.63%
5 その他	6	9.52%
小計	63	100.00%



(6)ごみ減量化の課題

項目	回答数	割合
1 コストがかかる	30	12.77%
2 分別や回収の仕組みが分かりにくい	30	12.77%
3 スペースや設備が足りない	28	11.91%
4 時間や人手の確保が難しい	26	11.06%
5 社内の意識が低い	18	7.66%
6 リサイクル業者・処理業者との連携が難しい	17	7.23%
7 特にない	82	34.89%
8 その他（自由記述：）	4	1.70%
小計	235	100.0%

4 行政情報の取得、支援

(1)行政に求める支援内容について

項目	回答数	割合
1 分かりやすいガイドラインや事例の提供	86	30.82%
2 分別・回収のインフラ整備	68	24.37%
3 補助金・助成制度の導入	38	13.62%
4 市民・消費者への啓発活動	38	13.62%
5 特にない	34	12.19%
6 事業者間の連携支援	9	3.23%
7 専門家によるアドバイス	3	1.08%
8 その他（自由記述：）	3	1.08%
小計	279	100.0%

(2)減量化・リサイクルに関して、どのような情報が知りたいか

項目	回答数	割合
1 ごみの分別やリサイクルの正しい方法	96	30.00%
2 ごみを減らすための実践的な取り組み事例	66	20.63%
3 リサイクル業者や処理業者の情報	43	13.44%
4 行政や業界団体の支援制度や補助金情報	34	10.63%
5 ごみ処理やリサイクルにかかるコスト削減の方法	32	10.00%
6 ごみの減量やリサイクルに関する法令・条例の内容	17	5.31%
7 ごみ削減やリサイクルによる経営メリット（CSR・企業イメージ向上など）	17	5.31%
8 最新の技術や設備に関する情報	13	4.06%
9 その他（自由記述：）	2	0.63%
小計	320	100.00%

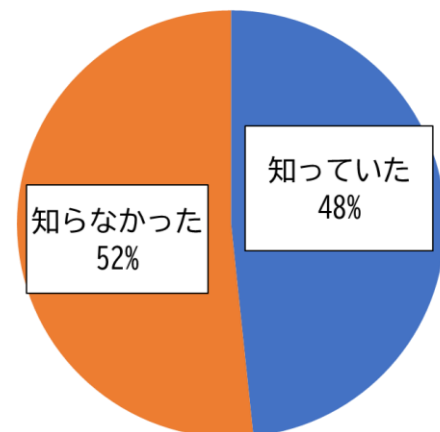
(3)望ましい情報取得方法

項目	回答数	割合
1 行政や自治体のWebサイト	66	34.20%
2 紙媒体（チラシ・パンフレット）	53	27.46%
3 ごみ収集業者やリサイクル業者からの案内	18	9.33%
4 SNS（Facebook、X、Instagramなど）	17	8.81%
5 業界団体や商工会議所を通じた情報提供	17	8.81%
6 メール配信（メールマガジン・ニュースレター）	10	5.18%
7 オンラインセミナー・動画配信（YouTube、ウェビナー）	5	2.59%
8 セミナーや講習会（会場型）	3	1.55%
9 その他（自由記述：）	4	2.07%
小計	193	100.00%

5 ごみ処理費用

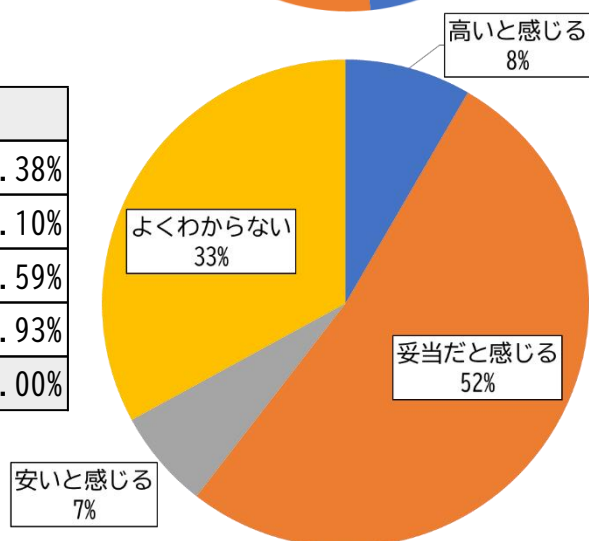
(1)事業系ごみの処理手数料の認知度

項目		回答数	割合
1	知っていた	87	48.33%
2	知らなかった	93	51.67%
小計		180	100.00%



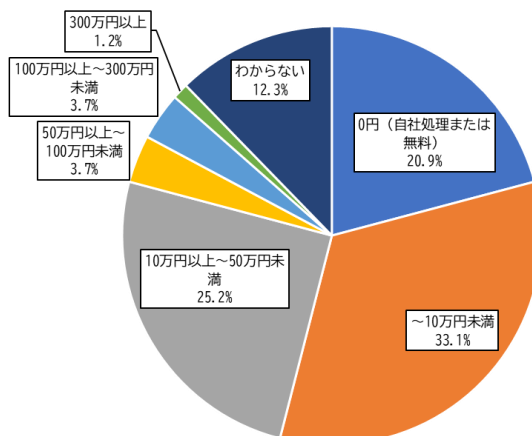
(2)福島市処理手数料の料金設定

項目		回答数	割合
1	高いと感じる	14	8.38%
2	妥当だと感じる	87	52.10%
3	安いと感じる	11	6.59%
4	よくわからない	55	32.93%
小計		167	100.00%



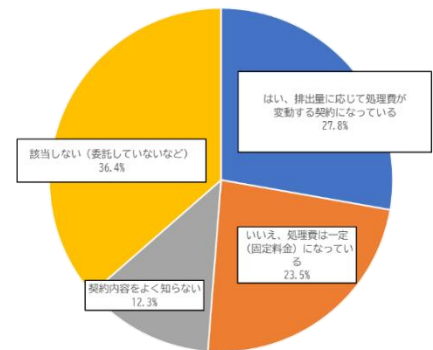
(3)ごみ処理に係る年間経費

項目		回答数	割合
1	0円（自社処理または無料）	34	20.86%
2	～10万円未満	54	33.13%
3	10万円以上～50万円未満	41	25.15%
4	50万円以上～100万円未満	6	3.68%
5	100万円以上～300万円未満	6	3.68%
6	300万円以上	2	1.23%
7	わからない	20	12.27%
小計		163	100.00%



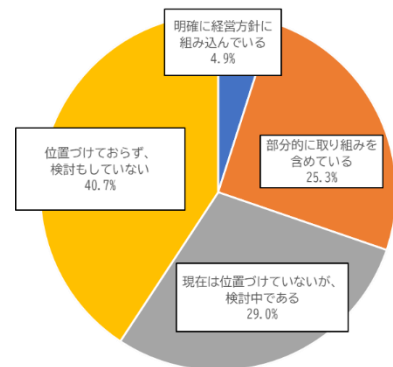
(4)収集運搬業者との委託契約内容

項目	回答数	割合
1 はい、排出量に応じて処理費が変動する契約になっている	45	27.78%
2 いいえ、処理費は一定（固定料金）になっている	38	23.46%
3 契約内容をよく知らない	20	12.35%
4 該当しない（委託していないなど）	59	36.42%
小計	162	100.00%



(5)経営方針への位置づけ

項目	回答数	割合
1 明確に経営方針に組み込んでいる	8	4.94%
2 部分的に取り組みを含めている	41	25.31%
3 現在は位置づけていないが、検討中である	47	29.01%
4 位置づけておらず、検討もしていない	66	40.74%
小計	162	100.00%



6 サークュラーエコノミー

(1)取り組み状況

項目	回答数	割合
1 廃材・副産物の再利用・再資源化	35	18.42%
2 商品や部品の回収・再利用	31	16.32%
3 リユース品・中古品の販売・活用	24	12.63%
4 修理・保守を前提とした製品設計	9	4.74%
5 取組はしていない	86	45.26%
6 その他	5	2.63%
小計	190	100.00%

(2)取り組みを行う理由

項目	回答数	割合
1 事業コスト削減のため	45	38.14%
2 環境負荷の軽減（脱炭素・ごみ削減）のため	33	27.97%
3 社会的責任（CSR・SDGs）への対応	28	23.73%
4 法令・条例・補助制度への対応	7	5.93%
5 顧客からのニーズ・評価のため	3	2.54%
6 その他	2	1.69%
小計	118	100.00%

(3)取り組む上での課題・障壁

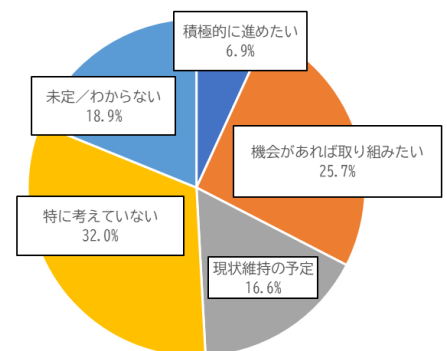
項目	回答数	割合
1 費用やコストがかかる	29	14.36%
2 回収・再資源化の仕組みが不足している	29	14.36%
3 社内理解や人材の不足	25	12.38%
4 消費者の関心・理解が低い	20	9.90%
5 技術的な課題がある	13	6.44%
6 行政・業界からの支援が足りない	13	6.44%
7 特になし	70	34.65%
8 その他	3	1.49%
小計	202	100.00%

(4)促進のために行政に求める支援・制度

項目		回答数	割合
1	分別・回収・再資源化のインフラ整備	68	27.76%
2	情報提供・成功事例の紹介	49	20.00%
3	補助金や税制優遇などの経済的支援	45	18.37%
4	特に求めることはない	40	16.33%
5	市民への啓発・教育の強化	30	12.24%
6	他事業者・団体とのマッチング支援	12	4.90%
7	その他	1	0.41%
小計		245	100.00%

(5)取り組みの拡大、新規導入する意向

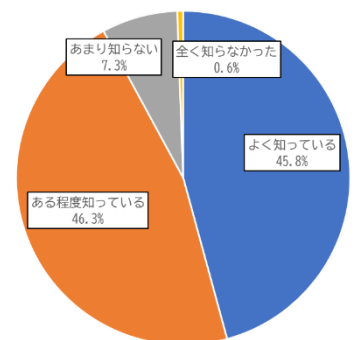
項目		回答数	割合
1	積極的に進めたい	12	6.86%
2	機会があれば取り組みたい	45	25.71%
3	現状維持の予定	29	16.57%
4	特に考えていない	56	32.00%
5	未定／わからない	33	18.86%
小計		175	100.00%



7 食品ロス

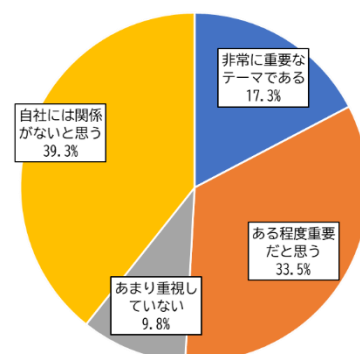
(1)食品ロスの認知度

項目		回答数	割合
1	よく知っている	81	45.76%
2	ある程度知っている	82	46.33%
3	あまり知らない	13	7.34%
4	全く知らなかった	1	0.56%
小計		177	100.00%



(2)重要性についての意識

項目		回答数	割合
1	非常に重要なテーマである	30	17.34%
2	ある程度重要だと思う	58	33.53%
3	あまり重視していない	17	9.83%
4	自社には関係がないと思う	68	39.31%
小計		173	100.00%



(3)食品の取り扱い

	項目	回答数	割合
1	食品の製造・加工	6	3.39%
2	食品の販売（小売・卸など）	19	10.73%
3	施設での食事提供（学校・病院・福祉施設など）	10	5.65%
4	社員食堂・福利厚生での食事提供	1	0.56%
5	社内行事などでの食品使用	3	1.69%
6	食品は扱っていない	135	76.27%
7	その他	3	1.69%
	小計	177	100.00%

(4)実施している取り組み内容

	項目	回答数	割合
1	在庫や仕入れの最適化	35	16.75%
2	消費・賞味期限の管理徹底	24	11.48%
3	食品廃棄の定期的な把握・分析	12	5.74%
4	規格外や余剰食品の再利用・値引き販売・社内利用	9	4.31%
5	社内啓発や教育	6	2.87%
6	フードバンクや地域団体への提供	5	2.39%
7	特に行っていない	114	54.55%
8	その他	4	1.91%
	小計	209	100.00%

(5)取り組みを進める上での課題

	項目	回答数	割合
1	効果が見えにくい	24	13.19%
2	人手や時間が不足している	17	9.34%
3	社内の関心が低い	11	6.04%
4	廃棄コストの方が安く感じる	9	4.95%
5	取り組み方法がわからない	8	4.40%
6	特に課題はない	104	57.14%
7	その他（自由記述：）	9	4.95%
	小計	182	100.0%